


# 取りまとめに向けて

- 協議会案を取りまとめる段階で、できるできないの仕分けを行うべきではない。
  - 基本的には委員の思いを全て受け止める
  - 財政面、技術面からのできるできないは、時間軸により整理
- ただし、これまでに提案されている施設や機能について、それらを設ける意義や目的を具体的に示す必要がある。
- 意義や目的は市全体の公益性、公共性の観点から捉える必要がある。
  - 市全体にとって有益な施設・まちづくりであることを、自信を持って打ち出す

- 施設の立地特性や周辺地域の特性を最大限生かすことで市全体の公益性、公共性が実現できるという意義や目的を示す必要がある。
  - ここだからこそ、これができることを打ち出す
- そのためには、施設や機能のソフト面、活用法や運営策なども必然的にある程度提示することが求められる。
  - 単なる施設や機能の羅列ではなく、ソフト面も含めて、「市全体にとって有益であり、こんなことはここでしかできない。」と言えるアイデアを盛り込む。



ごみ焼却から→発電  
廃品から→新たなものづくり  
廃品から→次世代育成